

拠点名称：資源あふれる豊かで持続可能な瀬戸内海創生拠点

代表機関	香川大学	プロジェクトリーダー	末永 慶寛 香川大学 創造工学部 学部長
参画機関	海洋研究開発機構、香川県水産試験場、京都大学、日本原子力研究開発機構、広島大学、三重大学 香川県、香川県漁業協同組合連合会、NECネットエスアイ株式会社、海山川里株式会社、株式会社建設技術研究所大阪本社、坂出市、さぬき市、小豆島町、高松市、日本リーフ株式会社、株式会社不動テトラ		

プロジェクトの概要

瀬戸内海の水産資源の安定した供給には、海面養殖業及び種苗放流等の栽培漁業の促進のほか、基盤となる漁場環境の維持・回復を図ることが必要である。特に、喫緊の課題は将来の海水温上昇に対する水深帯の深い場所での藻場造成技術、魚介類のみならず海草藻類の安定した種苗生産技術と生産力増強に伴う市場展開である。

本プロジェクトでは、瀬戸内海の「藻場造成」、「種苗生産」、「サーキュラーエコノミー」に着目し、10年後の瀬戸内海において“海のゆりかご”藻場から始まる資源あふれる豊かな瀬戸内海の創生を目指し、デジタル技術を活用した科学的根拠に基づく、効果的かつ効率的な次世代型の手法への転換による諸課題の解決を図る。

